



# Weekly Report

Engage Rotary Change Lives

ロータリーを实践しみんな豊かな人生を

2013-2014 年度 R.I.会長

ロン D.バートン

名古屋アイリスロータリークラブ  
 例会日 毎週水曜日 13:00-14:00  
 例会場 ANA クラウンプラザホテル  
 グランコート名古屋  
 創立 2013年6月5日  
 会長 八神 基 幹事 荒山 久美

第27回例会 2014年1月15日 水曜日 晴れ

斉唱 「我等の生業」

## 出席者報告

例会	第27回(1/15)	第26回(1/8)	第25回(12/16)
会員数	32名	32名	32名
出席	18名	25名	21名
欠席	13名	5名	8名
Make Up	1名	2名	3名
出席率	59.37%	84.38%	75.00%

## ゲスト紹介

名北 RC 梅田 渉 様  
 深見 和久 様 (入会希望者)

## ニコボックス報告

八神会長

梅田さんありがとうございます。深見さん、ようこそ！

安井副会長

荒山幹事に盃をいただき、三木さんは酒がないと飲めないな一と言っていました。

## 会長挨拶

25年前、年が明けて間もなく平成の世となりました。あれから四半世紀です。想えば、その前年末の大納会で史上最高値の約39,000円を付けた日経平均株価は、その後7,000円近くまで下がりました。昨今のアベノミックスによりやっと16,000円辺り

まで回復してきたとはいえ、その間に国の借金は4倍にも膨れ上がり、財政は悪化の一途を辿ってきたこの四半世紀です。今年4月1日から消費税が3%上積みされ8%となります。消費税の導入もちょうど四半世紀前の平成元年4月でした。

この平成元年=1989年は、第二次大戦後の世界の様相が大きく変わった年でした。1月7日、昭和天皇の崩御(昭和日本の終焉へ)、6月には中国で天安門事件(市場経済の惹起へ)、11月にはベルリンの壁の崩壊(東西冷戦終結=共産主義国家の消滅へ)、そして年末には世界を呑むと言われていた日本経済の象徴=株価がピーク値を付け、この後はバブル崩壊からデフレ経済~リーマンショックへと停滞期に向かった切っ掛けの年でした。

その四半世紀後の今年、またエポックメイキングの年となるかもしれません。世界はより狭くなり、地球の裏側で起こることが瞬時にして駆け巡る情報は、もっと速く・もっと多くと飽くことなく要求されています。情報通信関連産業へは集中的に投資が続くでしょう。わが国では2020年のオリンピック開催を控えていることでもあります。バブル崩壊~リーマンショックによる世界同時不況以来、ずっと手控えられていた設備投資が復活する予兆が感じられます。とりわけ、当地区ではリニア新幹線の

大きなプロジェクトが動き出します。この完成の2027年前後には、名古屋地区は大阪地区を凌ぐ都市圏となります。

今年はその始まりの年です。

## 本日の卓話

「自己紹介と私の職業について」

名古屋アイリスロータリークラブ

細川 年行 さん（職業奉仕担当）

細川年行と申します。大阪生まれの大阪育ちで、最終学歴は大阪学院大学（経営）です。大学卒業後は会計事務所に入社し、税理士、公認会計士を目指して勉学に励んでいましたが、大変難しく私の頭ではダメと気が諦めました。それで、会計事務所を退社して個人で会社の経営、税務、事務等の顧問をして生計を立てていましたところ、名古屋のある会社の常務さんにゴルフ練習場の企画、運営を手伝ってほしいとの事で、名古屋にまいりました。新会社を設立し開始しましたが、土地からですので、大変な作業でなかなか上手くいかず、地主の了解をとるのも大変で、結局6ヶ月で諦めました。昭和62年12月頃に藤和不動産(株)からゴルフ場許認可付きの案件があり、知り合いのゴルフ場経営をしている社長さんに相談したところ、快く引き受けていただきました。昭和63年2月に契約締結、工事着工となり、私としては無事に何事もなく完成してほしいと祈っていました。その結果平成2年9月に名称、「瑞陵ゴルフ倶楽部」として完成しました。第1号ということで、本当に嬉しく思いました。この頃はまだバブルの中でしたので、第2号、3号と思い、日本では北海道から九州、沖縄と物件を探しに行きました。海外ではインド

ネシアのバタン島まで調査をしにいったこともありました。その内にバブルが終わり、ゴルフ場の倒産、民事再生、破産となり、会員株も80-90%も下落し、大変な時を迎えることになりましたので、会社を整理して個人でシンエイゴルフを開業し、現在に至っています。

さて、昨年開催された岐阜清流国体ゴルフ競技では、第1回全国障害者スポーツ大会が開催されました。オープン競技ではありませんが、障害者ゴルフの部があり、上肢、下肢、片麻痺、聴覚、全盲、弱視などの7つの障害部門ごとにプレーが行われました。私はこの大会のボランティアとして参加し、弱視の選手を担当してガイドすることになりました。「ルールは一般のゴルフと同じ」という競技説明の中、上手くガイドできるか不安でしたが、何とか18ホールをラウンドすることが出来ました。閉会式の挨拶で、競技委員長から「もっと早くラウンドするように努力して下さい。」という厳しい一言がありました。障害者ゴルフファーストは通常ハーフ2-3時間を目標にプレーをしていますが、常に周囲に迷惑をかけずにプレーすること、つまり「品格を持ってプレーしてください。」という言葉に私には聞こえ、感動を覚えました。

ゴルフはやればやるだけ奥が深く球趣もつきないスポーツであり、生涯スポーツとしては最高のものです。名古屋アイリスロータリークラブの会員の皆様におかれましては、是非ゴルフをしていただきますようお願い申し上げます。今年の5月~7月中に女子シニア・アマ障害者チャリティゴルフ大会を開催する予定ですので、ご参加のほど宜しくお願いします。